

積極的な独自支援策を

プレミアム付商品券を検討



議員 豊間根信
(政和会)

問 コロナウイルス禍への経済対応策は。

佐藤町長 事業継続支援金、家賃補助、テイクアウト事業等の支援事業を実施し、現時点で考えられる施策を積極的に進めている。

問 当初想定されていなかったあらゆる業種・家庭状況等への多種多様な独自施策展開は。

町長 低迷する地域経済回復のためプレミアム付商品券実施を検討している。

問 飲食店とタクシー業界等とがコラボしたデリバリー対応などを検討していたと聞いていたが。

川守田復興企画課長 地域公共交通の維持ということも踏まえ検討した経緯はある。先に町全体の経済活性化のため、プレミアム付商品券事業実施を進めていく。

問 このような状況下であるため、新たな雇用の場創出につながっていく、そして町民の皆さんが希望をもって安心して生活できる町を作り上げていく、そのような対応策を期待する。

復興企画課長 今後の国の動向を見据えて様々な対策を検討していく。

問 コロナ禍、そして震災後も含めた現状を踏まえ、自治会・行政区等の制度改革・対応をすべきではないか。

甲斐谷総務課長 国が示している「新しい生活様式」を参考にして、住民サービスを低下させず、地域の結びつきも考えた対応策を検討していく。

問 被害復旧状況・復旧施策への住民合意形成状況および復旧率、検証および今後の課題その対応を問う。

町長 5月末時点での復旧率は国の災害査定を受けた農林業施設5件の災害復旧工事が20%、公共

寄り添った相談に努める

土木施設52件の災害復旧工事が約6%となっている。住宅再建支援は補修補助43件、なりわい等に対する支援は施設設備の復旧補助4件の申請を受け付けている。今後とも制度の周知と被災者に寄り添った相談に努める。

台風19号被害 被災者への対応は



早期の改良復旧に向けて進行中の田の浜地区

町の公的施設のエアコン設置は

利用状況を踏まえ 計画的に設置

問 地球温暖化等に伴う異常気象等を踏まえ、各教育施設および公的施設への早期のエアコン設置が求められている。設置計画について問う。

町長 6月で全ての小中学校保健室への設置が完了する予定。船越保育園、放課後児童クラブは全て設置済み。今年度は中央コミュニケーションセンターと室への設置を計画している。未設置の施設についても利用状況等を確認しながら計画的に設置するよう努めていく。

その他の質問

◆ 空き家バンク制度の状況と今後の施策展開について